

民衆の声
ボイス

No.112

公明党 横浜市会ニュース

Voiceよこはま

http://www.yhkomei.com/ E-mail:shikai@yhkomei.com 公明党横浜市議員団 〒231-0005 横浜市中区本町6-50-10 TEL.671-3023 FAX.681-2060

山中市長へ要望書を提出

子どもの医療費 無償化18歳までの拡大
来年度実施へ！

8月26日、さらなる子育て負担の軽減を求めて、8月3日に市長選挙で2期目の当選を果たした山中竹春市長に要望。小児医療費助成の拡充について、所得制限なしで速やかに18歳まで対象を引き上げるよう申し入れました。

市長は「18歳までの拡大に向けて取組を進めていきたい」と応じました。平成4年、公明党市議団として、横浜市会で初めて乳幼児の医療費無償化を提案。以来、歴代市長との議論を重ね、中学3年までの無償化を実現してきました。

私たちは、来年度からの対象年齢拡大の実現に向けて、取り組んでまいります。



山中市長に、早期の実施を要望

带状疱疹ワクチン定期接種がスタート！

公明党が、長年にわたり国と地方の議会で連携し、政策提言をしてきた带状疱疹ワクチンの定期接種がカタチになりました！横浜市は、7月1日から65歳以上の方などを対象に開始。対象者には予診票が郵送され、接種期間は令和8年3月31日までです。



山中市長に要望したときの様子(令和4年10月14日)

■定期接種化を求める公明党横浜市議員団と横浜市の動き

令和4年 5月20日 一般質問において公費助成の導入を要望
10月14日 令和5年度予算要望と合せ、定期接種化を要望
12月19日 市長が厚労省へ定期接種化と財源措置を要望

令和5、4年度横浜市内での罹患状況等を調査

令和5年 7月、11月 市長が厚労省に重ねて要望
令和6年 6月20日 厚労省専門家会議でワクチンを定期接種に含める方針を了承
令和7年 7月1日 横浜市での定期接種がスタート

■対象者

令和8年4月1日時点で65歳の方
・令和7年度から5年間の経過措置として、令和8年4月1日時点で70、75、80、85、90、95、100歳の方
・令和7年度に限り、令和8年4月1日時点の年齢が101歳以上の方

■接種費用(自己負担額)

生ワクチン(1回接種)……………4,000円
組換えワクチン(2回接種で)…20,000円
・ワクチンは2種類から選択してください。
・非課税世帯および生活保護の方は接種費用が免除されます

■接種場所

横浜市带状疱疹ワクチン接種協力医療機関

詳しくは
こちら▶

アクションレポート VOL.25

小さな声を聴く力 声をカタチに！

久保 かずひろ 横浜市議員(瀬谷区選出)

HP <https://www.k-kubo.yokohama/> BLOG <https://k-kubo.jugem.jp/>久保かずひろ政務活動事務所
代表 久保かずひろ〒246-0031
横浜市瀬谷区瀬谷 1-20-7
真和瀬谷ビルII 102
Tel.045-298-6845
Fax.045-330-6151

誰一人取り残さない社会を～耳で聴くハザードマップがカタチに！

8月8日に、「耳で聴くハザードマップ」が横浜市中区で導入されました。私は、令和6年3回定例会一般質問で、気候変動等により、全国で多大な被害が発生していることを踏まえ、視覚障がい者への音声案内付きハザードマップの導入を提案しました。視覚障がい者は風水害に対し、紙のハザードマップからは情報を得られません。そこで「音声案内技術」を駆使し誰一人取り残さない、視覚障がい者にも伝わる防災情報を提供すべき」と、山中市長に訴え、「近年はGPSを活用してマップ情報とリンクさせ、現在いる場所のリスク情報を音声案内するアプリが実用化されており、



「耳で聴くハザードマップ」が横浜市中区で導入されました。私は、令和6年3回定例会一般質問で、気候変動等により、全国で多大な被害が発生していることを踏まえ、視覚障がい者への音声案内付きハザードマップの導入を提案しました。視覚障がい者は風水害に対し、紙のハザードマップからは情報を得られません。そこで「音声案内技術」を駆使し誰一人取り残さない、視覚障がい者にも伝わる防災情報を提供すべき」と、山中市長に訴え、「近年はGPSを活用してマップ情報とリンクさせ、現在いる場所のリスク情報を音声案内するアプリが実用化されており、

視覚障がい者にも伝わる防災情報の提供について検討していく」との答弁を引き出しました。

●現在地の災害情報を音声で案内

ハザードマップを目で見て確認することが難しい方等の避難行動を支援するため、音声読み上げアプリ「Uni-Voice Blind(ユニボイス ブラインド)」をスマートフォン等にインストールすることで、現在地の災害リスクや気象情報、避難所情報を音声で提供されるサービスです。

■主な搭載機能・音声で提供される情報
・スマートフォン等のGPS機能と連携した現在地や周辺の災害リスク情報(洪水、内水、高潮、土砂災害、津波)
・現在発生している、警報、注意報、避難情報等
・避難所開設情報

詳しくは
こちらから

脱炭素化へ～再生可能エネルギーの普及を推進！

●雨水調整池に太陽光発電システムを設置

このほど、第一号となる湘南桂台第二雨水調整池(栄区)が完成。横浜市が所管する雨水調整池に事業者が太陽光発電設備を設置し、発電した電力を脱炭素先行地域(みなとみらい21地区)へ供給する事業です。

平時は大きな空間である雨水調整池に太陽光発電設備を設置。大雨の際には、本来の雨水の貯留機能を発揮し、水位変動の際には水上式太陽光パネルが水面に浮く仕組みです。課題であった手間と費用のかかる草木の管理なども委託事業により管理・メンテナンス

詳しくは
こちらから▶

ンスが行われます。

●阿久和遊水池への設置も進む

地元の瀬谷区の阿久和遊水池でも、同事業が行われる予定です。事業者との契約も進み、太陽光パネルを貯留の高さ以上に設置する架台式の工法により、水中に沈むことなく発電できます。



まちかどホットライン

■瀬谷スポーツセンターのエアコン設置

体育室の快適な利用や、熱中症対策として空調機の早期設置を推進。猛暑を迎えるに先立ち、リニューアル工事が完成し、第一・二体育室へのエアコン設置、照明のLED化など5つの対策が実施されました。



■歩道の根上がりと段差を解消

南台交差点付近から南台ハイッ住宅に至る歩道4箇所に対して、歩道の付け替えや樹木の整備を実施。街路樹の根上がりから段差が生じ、高齢者や車いすをご利用の方から困りの声が届いていました。



■交通安全対策を実施！

〔市宮橋戸ハイッ付近と中原街道に至る区間〕

橋戸1丁目付近交差点付近に交通安全対策を実施。子育て世代の方等からヒヤリハットが散見されるのを受け、交差点には、①交差点丁字マークと、②誘導線を新設。③中原街道と橋戸ハイッ区間の白線(外側線)を再整備しました。



プロフィール

◆1973年11月生まれ、兵庫県神戸市出身 ◆神戸大学卒 ◆国際物流・貿易関係企業などを経て、再生可能エネルギー関連企業に勤務 ◆党神奈川県本部 青年局長、党瀬谷支部支部長 ◆横浜市会/脱炭素・GREENxEXPO 推進・みどり環境・資源循環委員会 委員・未来のまちづくり推進特別委員会 委員・神奈川県後期高齢者・医療広域連合協議会 ◆妻と長女、長男の4人家族 ◆R3・R4年度 横浜市立原中学校 PTA 会長 ◆防災士

LINE募集!!

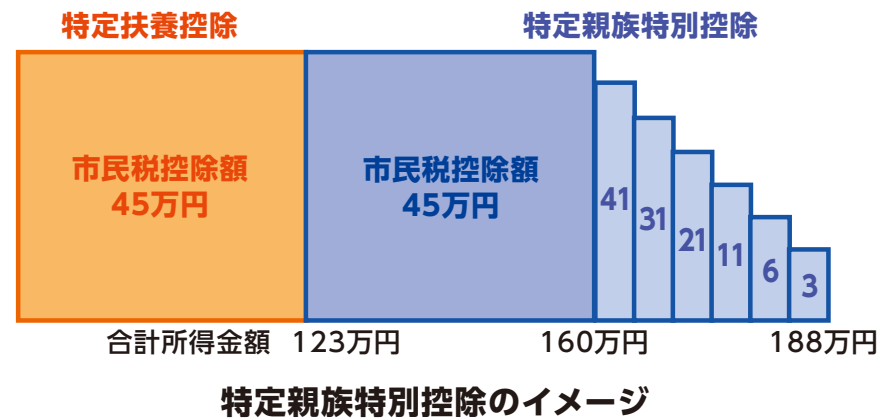


令和7年 第2回定例会より

大学生アルバイトの「年収の壁」解消へ

扶養する大学生等のアルバイトによる年収が103万円を超えた際に特定扶養控除が無くなり所得税負担が発生（＝節税効果が消滅）することに加え、大学生自身にも所得税の支払いと健康保険料支払い義務が発生する、いわゆる「働き損」の現象が起きていた課題について、国において公明党が主導し、所得税の課税最低限を160万円まで引き上げる税制改正を実現しました。

これを受けて、横浜市では市税条例を改正し「特定親族特別控除」を創設する議案を、先の議会で審議し、図のように大学生等の年収が160万円を超えるまで満額の扶養控除を受けられるようになりました。（※160万円を超えても188万円まで、段階的な扶養控除があります）



公明党横浜市会議員団、新たな所属委員会が決定

仁田 昌寿 （南区） ●政策経営・総務・財政委員会 副委員長 ●基地対策特別委員会 委員	木内 秀一 （旭区） ●健康福祉・医療委員会 委員 ●減災対策推進特別委員会 副委員長	竹野内 猛 （金沢区） ●市民にきこい入・スポーツ文化・消防委員会 委員 ●次世代活躍推進特別委員会 委員長	安西 英俊 （港南区） ●下水道・河川・水道・交通委員会 委員 ●特別市・大都市行政制度特別委員会 副委員長	行田 朝仁 （青葉区） ●政策経営・総務・財政委員会 委員 ●特別市・大都市行政制度特別委員会 副委員長	望月 康弘 （港北区） ●健康福祉・医療委員会 委員長 ●基地対策推進特別委員会 委員	斉藤 伸一 （保土ヶ谷区） ●建設・都市整備・道路委員会 副委員長 ●市民生活・地域・コミュニティ活性化特別委員会 委員	尾崎 太 （鶴見区） ●第62代副議長 ●国際・経済・港湾委員会 委員 ●減災対策推進特別委員会 委員
武田 勝久 （磯子区） ●国際・経済・港湾委員会 委員 ●市会連合委員会 委員	市来 栄美子 （都筑区） ●脱炭素・GREENXOXO推進・みどり環境・資源循環委員会 委員 ●減災対策推進特別委員会 委員	久保 和弘 （瀬谷区） ●脱炭素・GREENXOXO推進・みどり環境・資源循環委員会 委員 ●未来のまちづくり推進特別委員会 委員 ●神奈川県後期高齢者医療広域連合 議員	中島 光徳 （白塚区） ●建設・都市整備・道路委員会 委員 ●特別市・大都市行政制度特別委員会 委員 ●神奈川県内広域水道企業団 議員	竹内 康洋 （神奈川区） ●市民にきこい入・スポーツ文化・消防委員会 委員長 ●市民生活・地域・コミュニティ活性化特別委員会 委員	福島 直子 （中区） ●こども青少年・教育委員会 委員 ●未来のまちづくり推進特別委員会 委員 ●神奈川県後期高齢者医療広域連合 議員	高橋 正治 （緑区） ●こども青少年・教育委員会 副委員長 ●次世代活躍推進特別委員会 委員	

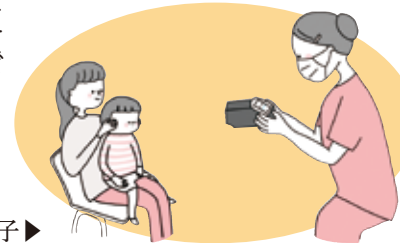
3歳児健康診査で、
弱視の早期発見を！

～目の屈折検査導入を推進～

子どもの視力は3歳から5歳が発達のピークで、6歳頃には成人とほぼ同等になります。この時期に屈折異常や斜視などの問題があると、視力の発達が妨げられ弱視になる可能性があります。

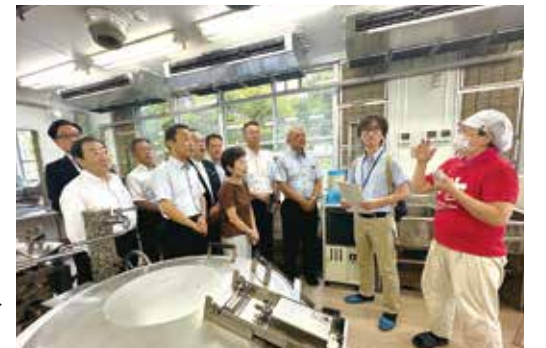
9月から、従来の3歳児乳幼児健康診査（当年度に4歳になる幼児）に工程を追加して、6区でモデル実施します。

〔6区：南、港南、金沢、港北、青葉、泉〕 目の屈折検査の様子▶

学校給食調理室への
エアコン設置が進む

夏場には45℃以上にもなる大変厳しい環境となる学校の給食調理室。働く調理員の方々よりご要望を頂き、昨年度は市内6校、今年度も6校に対してモデル設置を実現。来年度から、さらに取組みを加速し、市内全300校以上への早期の設置完了を目指します。

モデル設置を視察



政務活動最前線

現場の声を聴く！
恒例の政策懇談会を実施

6月中旬から8月上旬にかけて恒例の政策懇談会を開催。福祉、教育、医療、建設、交通など多岐にわたる関係者・団体の43団体から現場の課題や要望を伺いました。来年度の予算編成に向けて、市民目線での政策と施策を立案していきます。



〔横浜市幼稚園協会〕

公明党横浜市会政策懇談会

〔横浜市医師会〕

第9回アフリカ開発会議
(TICAD9)を横浜で開催！

8月20日、会議に先立ちケニア共和国のルト大統領が開催地の横浜市長を訪問し「ケニアと横浜の未来を共創する」とのテーマで議場演説を行いました。8月3日には日産スタジアムで、サッカーによる「在京アフリカ外交団チーム vs 日本国会議員・横浜市議員チーム」の親善試合により、希望溢れる「若き大陸」アフリカとの友好・信頼関係を深めることができました。



▲親善試合の様子



◀議場演説の様子

いじめ・不登校支援対策
について(5大市政策研究会)

8月25日、横浜・大阪・神戸・名古屋・京都の5大市公明党による定例の政策研究会を横浜市内で開催。いじめ・不登校対策など、子どもの権利を守る各都市の取組をテーマに意見交換しました。学びの多様化学校（不登校支援校）の研究、メタバースなどのデジタル技術の活用、民間フリースクールとの連携など共通する課題も多く、必要な予算措置などを、今後国へ要望していきます。



各都市の現場からの声を議論